

## 庭園プロデューサーと巡る日本庭園 第3弾 三溪園と世界の庭園

原三溪が作った**横浜の名園・国指定名勝・三溪園**と、横浜ならではの**洋館が立ち並ぶ丘の上の外交官の家のあるイタリア式庭園**、そして、**中国式庭園の3つ庭園をめぐります**。世界の庭に対する考えの違いに驚かれるでしょう。このコース最大の特徴は、本を読めばわかるような講師の解説は極力減らし、話し合いの機会を持ち、参加者一人一人が何を好み、何に違和感を持つか。発表（言語化）していただくことで、自らの「庭園観」、ひいては根本的な価値観をあらためて発見し、今後日本国内の庭や、諸外国の庭を訪れる時の楽しみにつながります。

**見学日程：2022年2月16日（水）11:00-16:00（予定）※長引く可能性あり**

**スケジュール：JR石川町駅 元町口 南口（中村川方面）10:50集合**

大船に向かって前側のホーム端階段降りる。

**山手イタリア山庭園** イタリア領事館がおかれたことから「イタリア山」と呼ばれています。西洋式庭園の特徴を見てみましょう。（バスで移動）



**三溪園** 実業家で茶人の原富太郎（三溪）によって1906年造園された敷地面積18万平方メートルの広大な日本庭園。京都や鎌倉などから集められた**歴史的建造物17棟**が自然豊かな園内にたくみに配置されている。梅や桜ツツジ、紅葉などの名所として知られ、外国人にも人気が高い。



**上海横浜友好園** 中国江南様式による庭園。上海市の木、玉蘭庁を中心に、庭院、曲橋で結ばれ、六角形の二重屋根が特徴的な湖心亭からもう一つの出入口の竹門などが池の中に巧みに配置され、独特の雰囲気醸し出している。

**【庭園講座で考えてみよう！ 横浜編 五大特長】**

ヒント ①内と外をシームレスにつなぐ「数寄屋造り」のコンセプト

②谷崎潤一郎「陰翳礼讃」の世界 ③塔、合掌造、屋根の着いた橋など、様々な建築様式

④左右対称の欧州庭園には違和感を抱くか？おしゃれなものとして受け入れるか？

⑤表現がド派手な中国庭園には心躍るか？疲れるか？

**講師：株式会社とらい 通訳案内士試験道場主催 高田直志先生**

1971年出雲国出身。奥出雲「石照庭園」プロデューサー。本職 英中韓通訳案内士試験養成道場主催。幼少期より生家や実家の庭いじりが趣味。京都はもちろん首都圏の庭園はほぼ踏破。海外でもアメリカ、中国、シンガポールなどの日本庭園には必ず足を運んできた。2019年庭を作りたくて土地を求め、竹林のある茨城県取手市に隠居。コロナ過の最中は庭づくりに没頭。



**参加費用：おひとり様 8,000円（ガイドングレシーバー代含む）**

移動バス代220円x2・三溪園入園料・昼食代各で自払ください。お申込み・お支払いはホームページより

（注）行程中、三溪園の中の“待春軒”で昼食を考えています。三溪蕎麦850円など各自払い

**申し込み締め切り：2月8日（火）** 但し定員になり次第早期終了の場合があります。

キャンセル規定：お申込み～8日前で5%（カード決済手数料）7日前～当日100%

最少催行人数：15名（最大20名まで）コロナによる休園で開催できない場合は延期または中止にします。

**申し込み・お問い合わせは：株式会社アイ・ティ・エス（iTravel Square）**

website: <https://i-travel-square.tokyo/sankeien>

e-mail: [info@i-travel-square.tokyo](mailto:info@i-travel-square.tokyo) tel.03-6706-4700

